

マネックス資産設計ファンド エボリューション

追加型投信／内外／資産複合

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界の株式、債券、リートを実質的な投資対象とし分散された基本ポートフォリオを構築し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2024年1月12日～2025年1月14日

第15期	決算日：2025年1月14日	
第15期末 (2025年1月14日)	基準価額	41,334円
	純資産総額	2,234百万円
第15期	騰落率	19.7%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

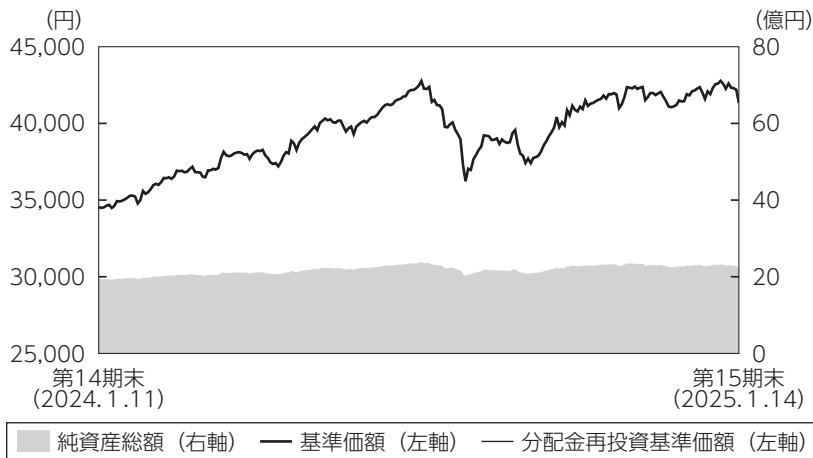
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第15期首： 34,538円
第15期末： 41,334円
(既払分配金 0円)
騰 落 率： 19.7%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

日銀の金融政策正常化の動きの中で国内の長期金利が上昇（債券価格は下落）したこと、それに伴い国内リートも下落したこと、米大統領選挙でトランプ氏が勝利したこと等を背景に海外の長期金利が上昇したことがマイナスに寄与しました。一方、企業決算が概ね良好な結果となったことや米国の底堅い景況感等から先進国を中心に多くの国の株式市場が上昇したこと等がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド	10.5%
外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	28.7%
エマージング株式パッシブ・マザーファンド	16.3%
国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	△4.3%
外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	6.4%
エマージング債券パッシブ・マザーファンド	8.5%
JーREITインデックスファンド・マザーファンド	△5.6%
外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド	11.4%

1 万口当たりの費用明細

項目	第15期 (2024年1月12日 ～2025年1月14日)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	240円	0.610%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は39,381円です。
(投信会社)	(127)	(0.322)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(96)	(0.244)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(17)	(0.044)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.009	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(2)	(0.005)	
(先物・オプション)	(1)	(0.003)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	4	0.010	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(3)	(0.009)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(1)	(0.001)	
(d) その他費用	28	0.070	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(20)	(0.050)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(2)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(6)	(0.015)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	275	0.699	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

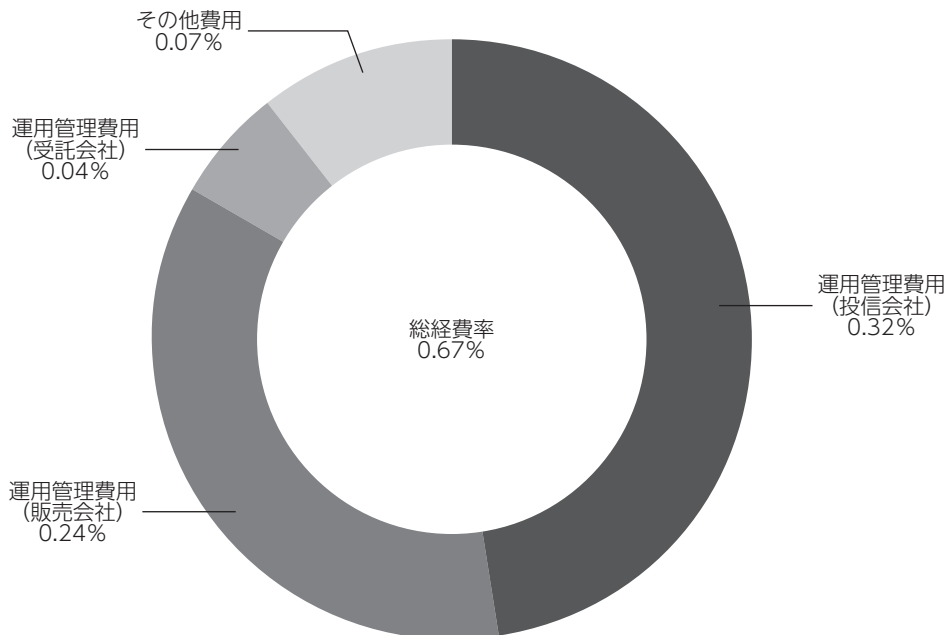
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.67%です。



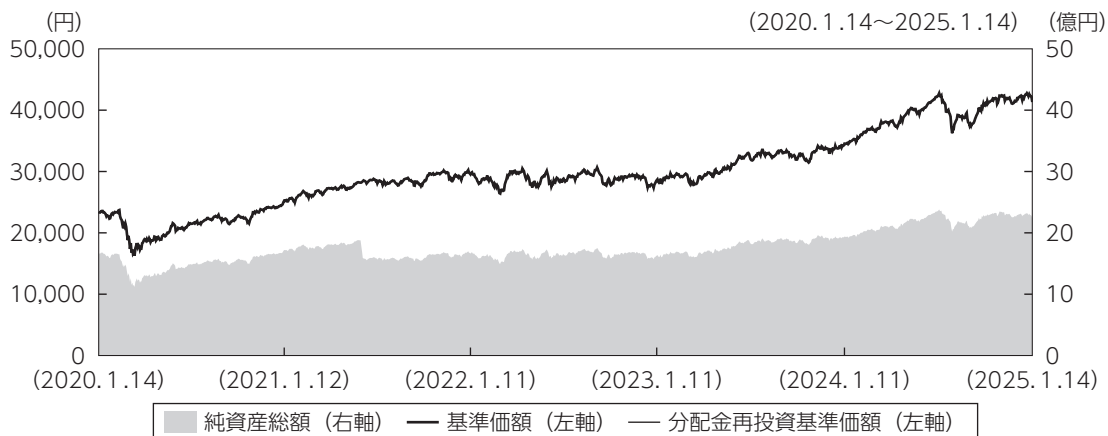
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2020年1月14日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2020年1月14日 期首	2021年1月12日 決算日	2022年1月11日 決算日	2023年1月11日 決算日	2024年1月11日 決算日	2025年1月14日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	23,403	25,239	29,538	28,570	34,538	41,334
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	7.8	17.0	△3.3	20.9	19.7
純資産総額 (百万円)	1,666	1,720	1,662	1,627	1,939	2,234

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

投資環境

国内株式市場は、期初から2024年3月にかけては、円安米ドル高の進行や海外株式市場の堅調などを要因として上昇しました。その後、ほぼ横ばいの推移となりましたが、8月上旬には円高米ドル安の進行や米国景気の先行き不安などを受けて一時的に急落する場面もありました。その後は、自民党総裁選挙、トランプ次期米国大統領の政策や為替動向などを材料にしつつ、一進一退の値動きとなりました。

先進国株式市場は上昇しました。期初からハイテク関連の新製品開発報道や堅調な業績が好感され多くの市場が上昇しました。その後、米ハイテク株の下落などにより調整する場面も見られましたが、F R B（米連邦準備理事会）議長が2024年9月の利下げを示唆したことから反発し、利下げ後も更なる利下げ期待から高値圏で推移しましたが、12月以降はF R Bが2025年の利下げ回数を2回に半減させたことから米欧長期金利が上昇し、株式市場は調整して期末を迎えました。

新興国株式市場（円換算ベース）は上昇しました。米国の利下げ観測を受け新興国株式市場でも金利低下期待から堅調に推移した後、2024年7月には米ハイテク株の下落の影響から大きく調整する場面も見られましたが、9月にはF R Bの大幅利下げや中国の大規模な景気刺激策の発表を受けて反発しました。10月以降は米大統領選挙を巡る不透明感やトランプ氏が当選したことによる関税引き上げなどが懸念され上値の重い展開のまま期末を迎えました。

国内債券市場は下落（利回りは上昇）しました。期初から2024年7月にかけては、マイナス金利政策解除などの日銀の金融政策正常化の動きの中で利回りは上昇しました。8月初めに米景気後退懸念を背景としたリスク回避の動きから大幅に利回りが低下（債券価格は上昇）した後、期末にかけては堅調な米雇用統計の結果や米大統領選挙を受けた米国金利の上昇や、日銀の利上げ観測、2025年度の国債発行計画における発行増額などを受けて利回りが上昇しました。

先進国債券市場では、米国債およびドイツ債の利回りはともに上昇しました。米国債は、F R Bが利下げを開始したことなどをを受けて、利回りが低下する局面もありましたが、堅調な雇用統計、米大統領選挙でトランプ氏が勝利したことなどで利回りは上昇しました。ドイツ債についても、E C B（欧州中央銀行）が利下げを実施しましたが、米国の金利上昇につられ利回りは上昇しました。

新興国債券市場は上昇しました。米国債利回りはF R Bの利下げ開始に向けて低下する局面もありましたが、堅調な経済指標などを背景とした更なる利下げの織り込みの後退や大統領選挙でのトランプ氏の勝利などから、利回りは上昇しました。米国債利回りの上昇は新興国債券市場のマイナス要因となったものの、対米国債のスプレッド（利回り格差）の縮小やインカム収入がプラス要因となった結果、新興国債券市場は上昇しました。

国内リート市場は下落しました。期初は日銀の金融政策正常化への警戒感から軟調に推移しましたが、2024年3月の金融政策決定会合で先行き不透明感が払拭されると反発しました。8月には急速な円高や景気後退懸念でリスク回避の動きが強まり下落しましたが、自律反発狙いの買いや日銀副総裁のハト派的な発言により反発しました。その後、米国の利下げ観測の後退や日銀による追加利上げへの警戒感が相場の重しとなり、軟調に推移しました。

外国リート市場は騰落まちまちの結果となりました。期前半は米国の利下げ観測が後退し、上値の重い展開となりました。2024年7月から8月にかけて日米などの株式市場では調整がありましたが、リート市場では米長期金利の低下が下支えとなり影響は限定的でした。その後は利下げへの期待が高まった米国やオーストラリアなどは上昇したものの、期末にかけては米欧で長期金利が上昇したことなどからリート市場は調整しました。

為替市場では円は主要通貨に対してまちまちの動きとなりました。米ドル／円相場は、期初から内外の金融政策の方向性の違いが意識されたこと等を背景に円安米ドル高が進んだ後、2024年7月に入ると日銀の想定以上の金融引き締め姿勢や米景気後退懸念等から急速に円高米ドル安が進みました。その後、米景気後退懸念が和らいだこと等から円高米ドル安が縮小しました。その他主要通貨においても、期初から円安現地通貨高が進んだ後、2024年7月に入ると急速に円高現地通貨安が進みましたが、その後は円高現地通貨安が縮小しました。

ポートフォリオについて

当ファンドでは、基本資産配分比率は原則として年1回見直すこととしており、2024年4月に変更しました。基本ポートフォリオをもとに、定性的な短期の相場見通しによる資産配分比率を機動的に変更することで、超過収益の獲得をめざしました。

＜基本ポートフォリオ＞

先進国株式：50％ 新興国株式：31％ 先進国債券：5％ 新興国債券：7％ 先進国リート：7％

決算日（2025年1月14日）現在の組入比率

資産	比率	マザーファンド名	比率
先進国株式	52.3%	国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド	2.7%
		外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	49.6%
新興国株式	30.7%	エマージング株式パッシブ・マザーファンド	30.7%
先進国債券	2.1%	国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	0.3%
		外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	1.9%
新興国債券	6.9%	エマージング債券パッシブ・マザーファンド	6.9%
先進国リート	7.9%	J-REITインデックスファンド・マザーファンド	0.5%
		外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド	7.5%

- ※1 組入比率は組入れているマザーファンドの時価評価額の合計に対する割合です。
- ※2 基本ポートフォリオの資産配分比率の決定については、イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社の投資助言を受け、原則として年1回見直すこととします。

●国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド
ベンチマークである東証株価指数（TOPIX）（配当込み）のリスク特性に概ね一致したポートフォリオを構築しました。

●外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド
ベンチマークであるMSCIコクサイ・インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）のリスク特性に概ね一致したポートフォリオを構築しました。

●エマージング株式パッシブ・マザーファンド
ベンチマークであるMSCIエマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）のリスク特性に概ね一致したポートフォリオを構築しました。

●国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド
ベンチマークであるNOMURA-BPI総合の銘柄入れ替えや、資金の流入・流出に応じて適宜債券の売買を実施し、リスク特性をベンチマークに極力一致させたポートフォリオを構築しました。

●外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

ベンチマークであるF T S E世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジなし）とリスク特性を極力一致させたポートフォリオを構築しました。

●エマージング債券パッシブ・マザーファンド

ベンチマークであるJ P モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円換算ベース・為替ヘッジなし）とポートフォリオのリスク特性を概ね一致させたポートフォリオを構築しました。なお、運用の基本方針で定められた格付による債券組入制限により、相対的に信用力の低い国の債券には投資しませんでした。

●J－R E I Tインデックスファンド・マザーファンド

配当落ち以外の場合では実質組入比率を高め、ベンチマークである東証R E I T指数（配当込み）との連動性を保つように努めました。また、期中の投資行動としましても、ベンチマークの構成銘柄の変更に応じたポートフォリオのリバランスを行い、資金の流入・流出に応じたきめ細かなポートフォリオ調整を実施し、ベンチマーク指数と同等のリスク特性を維持するよう努めました。

●外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド

ベンチマークであるS & P 先進国 R E I Tインデックス（除く日本、円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）に連動する投資成果をめざしたパッシブ運用を行いました。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2024年1月12日 ～2025年1月14日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	31,334円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

当ファンドでは、一定のリスク水準において期待リターンが最大となる資産配分比率を基本ポートフォリオとします。また、短期的なマクロ分析・市場分析等に基づいて、実際のポートフォリオの資産配分比率および国別配分比率を一定の範囲内で基本ポートフォリオから乖離させることにより超過収益の獲得をめざします。マザーファンドの組入比率について、基本ポートフォリオに基づき高位組入れを維持します。なお、基本ポートフォリオは原則として年1回見直します。

●国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド

引き続き、ベンチマークに連動する投資成果を目標としたパッシブ運用を行います。

●外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド

引き続き、ベンチマークに連動したパフォーマンスをめざします。

●エマージング株式パッシブ・マザーファンド

引き続き、ベンチマークの動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。また、保有しているロシア関連銘柄につきましては、売却可能となり次第、速やかに売却する方針です。

●国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

引き続き、ポートフォリオのリスク特性をベンチマークに極力近づけることにより、ベンチマークに連動する投資成果をめざした運用を行います。

●外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

引き続き、ベンチマークとポートフォリオのリスク特性を極力一致させることで、ベンチマークに連動する投資成果をめざしたパッシブ運用を行います。

●エマージング債券パッシブ・マザーファンド

引き続き、ベンチマークの動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。

●J－R E I Tインデックスファンド・マザーファンド

引き続き、リートの組入比率を高め、ベンチマークに連動する投資成果をめざした運用を行います。期中の投資行動では、ベンチマークの構成銘柄の変更に応じたポートフォリオのリバランスを行い、資金の流入・流出に応じたきめ細かなポートフォリオ調整を実施し、ベンチマークと同等のリスク特性を維持するよう努めます。

●外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド

引き続き、ベンチマークとポートフォリオのリスク特性を極力一致させることで、ベンチマークに連動する投資成果をめざしたパッシブ運用を行います。

お知らせ

約款変更のお知らせ

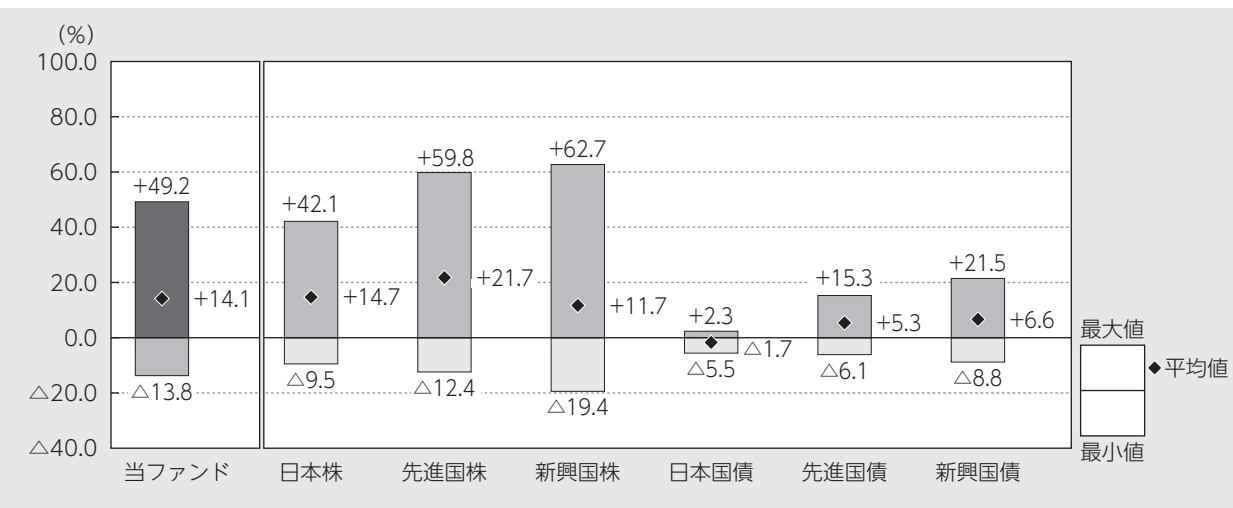
- 当ファンドが投資対象とする「外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド」において、先物取引等の指図範囲の規定を追加しました。

(2024年4月12日)

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合	
信 託 期 間	2010年5月28日から2045年1月11日までです。	
運 用 方 針	信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	マネックス資産設計 ファンド エボリューション	以下の各マザーファンド受益証券、投資対象市場に関連する株価指数先物および債券先物を主要投資対象とします。
	国内株式パッシブ・ ファンド（最適化法）・ マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式のうち、東証株価指数に採用されている（または採用予定の）銘柄を主要投資対象とします。
	外国株式パッシブ・ ファンド・マザーファンド	海外の株式を主要投資対象とします。
	エマージング株式 パッシブ・マザーファンド	海外の証券取引所に上場している株式*を主要投資対象とします。 ※D R（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。
	国内債券パッシブ・ ファンド・マザーファンド	わが国の公社債を主要投資対象とします。
	外国債券パッシブ・ ファンド・マザーファンド	海外の公社債を主要投資対象とします。
	エマージング債券 パッシブ・マザーファンド	新興国の公社債を主要投資対象とします。
	J-REITインデックス ファンド・マザーファンド	東京証券取引所に上場し、東証REIT指数に採用されている（または採用予定の）不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
運 用 方 法	外 国 リ ー ト ・ パッシブ・ファンド・ マザーファンド	日本を除く世界各国の不動産投資信託証券*を主要投資対象とします。 ※海外の証券取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券とします。
	原則として、各資産の長期のヒストリカルデータの分析により、一定のリスク水準において期待リターンが最大となる資産配分比率を基本ポートフォリオとします。 基本ポートフォリオの資産配分比率は、原則として、年1回見直しを行います。 基本ポートフォリオの構築にあたっては、8つのパッシブマザーファンド受益証券への投資を通じて行います。 短期的なマクロ分析・市場分析等に基づいて、実際のポートフォリオの資産比率および国別比率を一定の範囲内で基本配分比率から乖離させることにより、超過収益の獲得をめざします。 オフバランス資産のポジションを考慮した実質組入比率は、原則として、純資産総額の範囲内で高位を維持します。 原則として、外貨建資産の為替ヘッジは行いません。	
分 配 方 針	決算日（原則として1月11日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2020年1月～2024年12月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

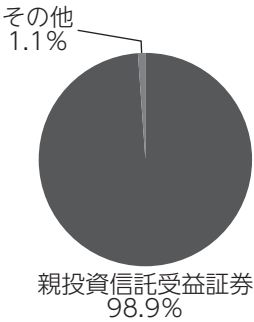
当ファンドの組入資産の内容（2025年1月14日現在）

◆組入ファンド等 (組入ファンド数：8ファンド)

	当期末
	2025年1月14日
外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	49.1%
エマージング株式パッシブ・マザーファンド	30.4
外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド	7.4
エマージング債券パッシブ・マザーファンド	6.8
国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド	2.7
外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	1.9
JーR E I Tインデックスファンド・マザーファンド	0.5
国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	0.3
その他	0.9

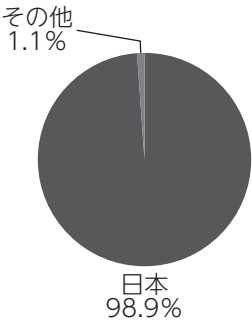
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2) 組入全ファンドに関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。
(注3) 現金等はその他に含めて表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

◆資産別配分

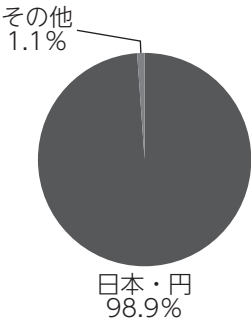


(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2) 現金等はその他として表示しています。

◆国別配分



◆通貨別配分



純資産等

項目	当期末
	2025年1月14日
純資産総額	2,234,872,836円
受益権総口数	540,681,222口
1万口当たり基準価額	41,334円

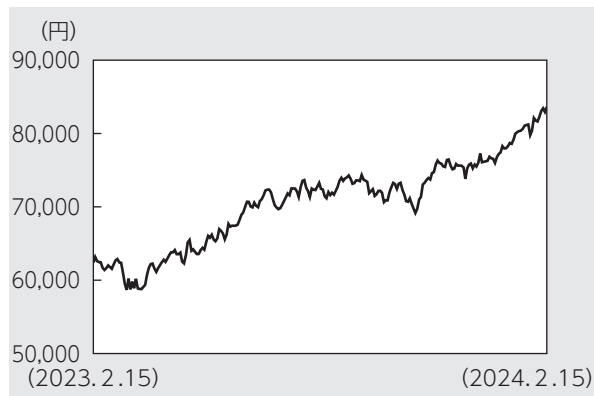
(注) 当期中における追加設定元本額は44,669,271円、同解約元本額は65,521,065円です。

組入ファンドの概要

【外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド】

(計算期間 2023年2月16日～2024年2月15日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄（現物）

銘柄名	通貨	比率
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	4.9%
APPLE INC	アメリカ・ドル	4.9
NVIDIA CORP	アメリカ・ドル	3.1
AMAZON.COM INC	アメリカ・ドル	2.7
META PLATFORMS INC	アメリカ・ドル	1.8
ALPHABET INC-CL A	アメリカ・ドル	1.5
ALPHABET INC-CL C	アメリカ・ドル	1.3
ELI LILLY & CO	アメリカ・ドル	1.0
BROADCOM INC	アメリカ・ドル	0.9
TESLA INC	アメリカ・ドル	0.9
組入銘柄数	1,255銘柄	

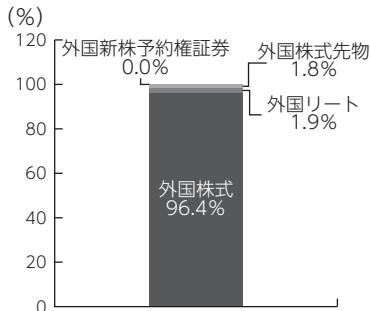
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	1円	0.002%
(株式)	(1)	(0.001)
(先物・オプション)	(0)	(0.001)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(b) 有価証券取引税	10	0.015
(株式)	(10)	(0.015)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(c) その他費用	17	0.024
(保管費用)	(12)	(0.016)
(その他)	(5)	(0.007)
合計	29	0.041
期中の平均基準価額は70,616円です。		

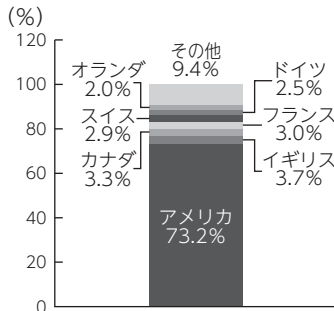
◆組入上位銘柄（先物）

銘柄名	売買	比率
S&P500 EMINI FUT	買建	1.4%
DJ EURO STOXX 50	買建	0.2
FTSE 100 INDEX FUTURE	買建	0.1
S&P/TSE 60 IX FUT	買建	0.1
SPI 200 FUTURES	買建	0.0
組入銘柄数	5銘柄	

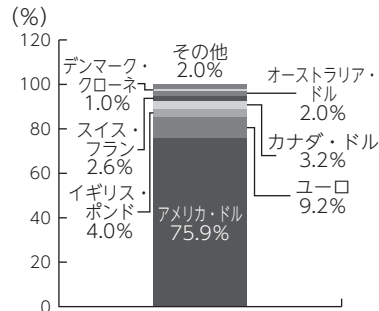
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注6) 資産別配分、国別配分、通貨別配分については、現金等を考慮しておりません。

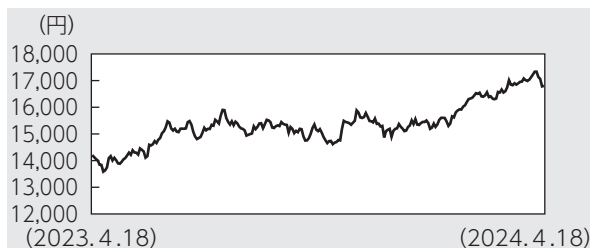
(注7) 国別配分は発行国(地域)を表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【エマージング株式パッシブ・マザーファンド】

(計算期間 2023年4月19日～2024年4月18日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄（現物）

銘柄名	通貨	比率
TAIWAN SEMICONDUCTOR	台湾・ドル	8.0%
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国・ウォン	3.6
TENCENT HOLDINGS LTD	香港・ドル	3.4
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	香港・ドル	1.9
RELIANCE INDUSTRIES LTD	インド・ルピー	1.4
SK HYNIX INC	韓国・ウォン	0.9
PDD HOLDINGS INC ADR	アメリカ・ドル	0.9
ICICI BANK LTD	インド・ルピー	0.9
MEITUAN	香港・ドル	0.8
CHINA CONSTRUCTION BANK	香港・ドル	0.8
組入銘柄数	1,340銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

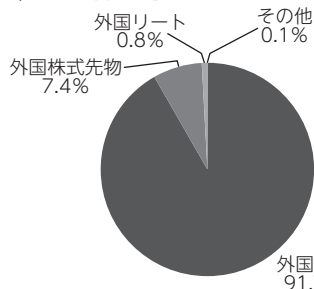
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	9円	0.057%
(株式)	(7)	(0.043)
(先物・オプション)	(2)	(0.014)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(b) 有価証券取引税	13	0.087
(株式)	(13)	(0.087)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(c) その他費用	34	0.221
(保管費用)	(24)	(0.155)
(その他)	(10)	(0.066)
合計	56	0.364

期中の平均基準価額は15,373円です。

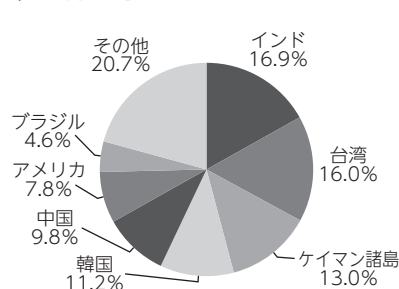
◆組入上位銘柄（先物）

銘柄名	売買	比率
MINI MSCI EMG MKT	買建	7.4%
組入銘柄数	1銘柄	

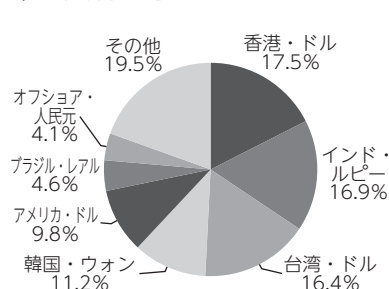
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分は、発行国（地域）を表示しています。

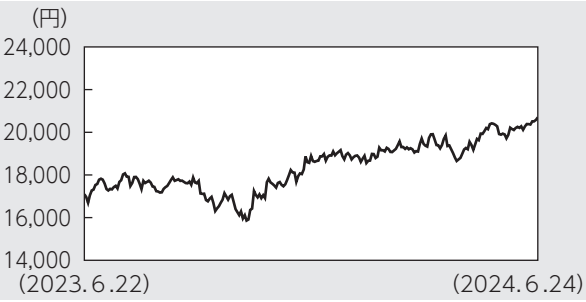
(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) その他は、総資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。また、国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド] (計算期間 2023年6月23日～2024年6月24日)

◆基準価額の推移

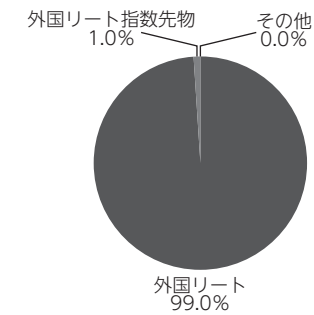


◆1万口当たりの費用明細

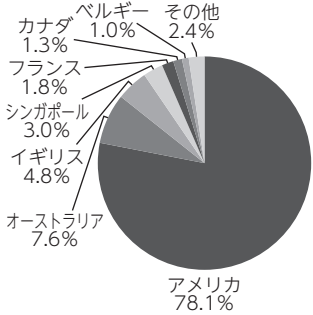
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	2円	0.013%
(先物・オプション)	(0)	(0.000)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.002)
(投資証券)	(2)	(0.011)
(b) 有価証券取引税	4	0.024
(投資信託受益証券)	(0)	(0.002)
(投資証券)	(4)	(0.022)
(c) その他費用	8	0.046
(保管費用)	(7)	(0.038)
(その他)	(1)	(0.008)
合計	15	0.083

期中の平均基準価額は18,397円です。

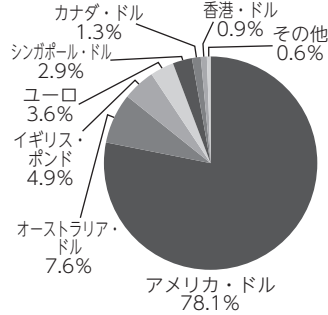
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



◆組入上位10銘柄 (現物)

銘柄名	通貨	比率
PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	7.4%
EQUINIX INC	アメリカ・ドル	5.3
WELLTOWER INC	アメリカ・ドル	4.5
DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ・ドル	3.5
SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	3.5
REALTY INCOME CORP	アメリカ・ドル	3.4
PUBLIC STORAGE	アメリカ・ドル	3.4
GOODMAN GROUP	オーストラリア・ドル	3.1
EXTRA SPACE STORAGE INC	アメリカ・ドル	2.5
VICI PROPERTIES INC	アメリカ・ドル	2.2
組入銘柄数	302銘柄	

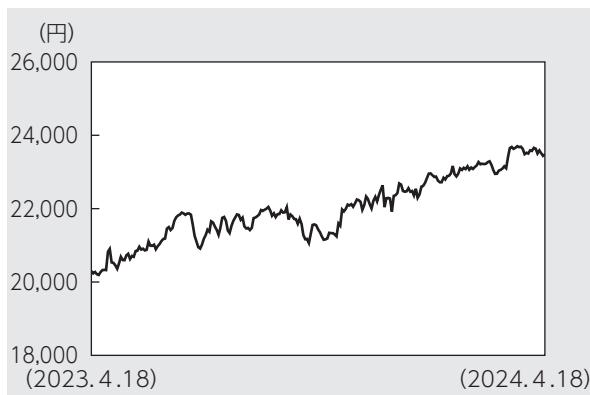
◆組入上位銘柄 (先物)

銘柄名	売買	比率
DJ US REAL ESTATE	買建	1.0%
組入銘柄数	1銘柄	

(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもです。
(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注3) 組入上位銘柄・資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注5) 現金等はその他として表示しています。
(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
(注7) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。
(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【エマージング債券パッシブ・マザーファンド】 (計算期間 2023年4月19日～2024年4月18日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

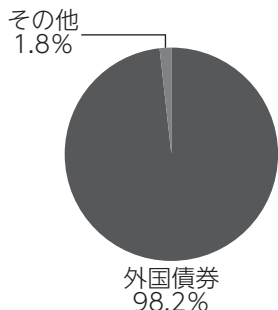
銘柄名	通貨	比率
ROMANIA 7.125 01/17/33	アメリカ・ドル	2.3%
HUNGARY 6.25 09/22/32	アメリカ・ドル	1.8
HUNGARY 5.25 06/16/29	アメリカ・ドル	1.7
SOUTH AFRICA 4.85 09/30/29	アメリカ・ドル	1.7
BRAZIL 3.75 09/12/31	アメリカ・ドル	1.6
BRAZIL 6.0 10/20/33	アメリカ・ドル	1.6
DOMINICAN REPUBLIC 5.5 02/22/29	アメリカ・ドル	1.6
SAUDI INTERNATIONAL BOND 5.5 10/25/32	アメリカ・ドル	1.5
SOUTH AFRICA 5.75 09/30/49	アメリカ・ドル	1.5
SAUDI INTERNATIONAL BOND 4.375 04/16/29	アメリカ・ドル	1.5
組入銘柄数	132銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

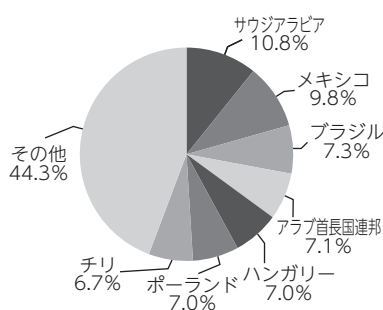
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	3円 (3) (0)	0.012% (0.012) (0.000)
合計	3	0.012

期中の平均基準価額は22,003円です。

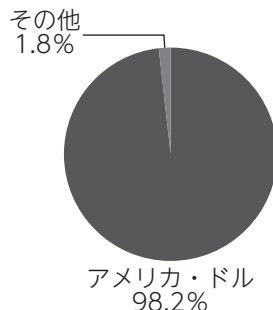
◆資産別配分



◆国別配分



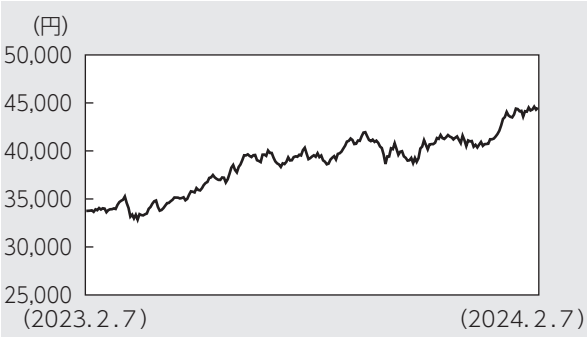
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 現金等はその他として表示しています。
- (注6) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。
- (注7) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
- (注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド】（計算期間 2023年2月8日～2024年2月7日）

◆基準価額の推移

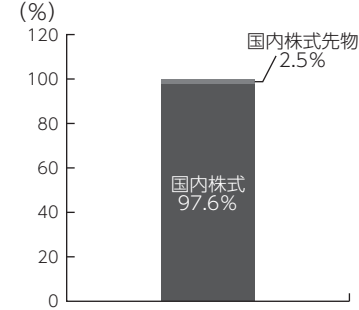


◆1万口当たりの費用明細

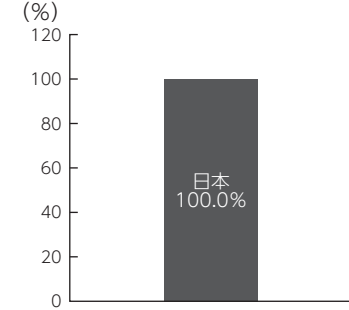
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	0円 (0)	0.001% (0.000)
(先物・オプション)	(0)	(0.001)
(b) その他費用 (その他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合計	1	0.001

期中の平均基準価額は38,764円です。

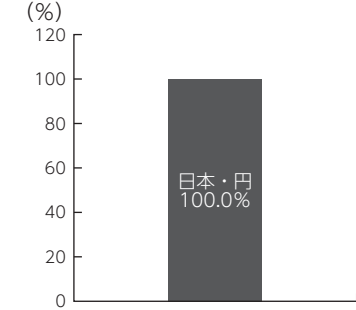
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



◆組入上位10銘柄（現物）

銘柄名	通貨	比率
トヨタ自動車	日本・円	4.8%
ソニーグループ	日本・円	2.7
三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本・円	2.3
キーエンス	日本・円	1.7
東京エレクトロン	日本・円	1.6
三菱商事	日本・円	1.6
日立製作所	日本・円	1.5
日本電信電話	日本・円	1.5
三井住友フィナンシャルグループ	日本・円	1.5
信越化学工業	日本・円	1.4
組入銘柄数	2,148銘柄	

◆組入上位銘柄（先物）

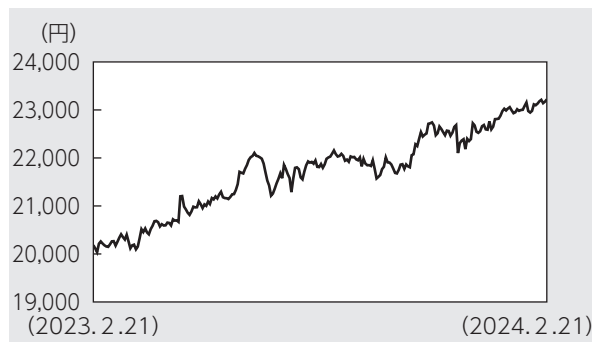
銘柄名	売買 買建	比率
TOPIX 先物		2.5%
組入銘柄数	1銘柄	

- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。
- (注6) 資産別配分、国別配分、通貨別配分については、現金等を考慮しておりません。
- (注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド】

(計算期間 2023年2月22日～2024年2月21日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

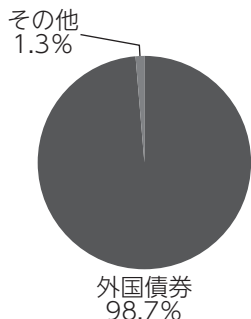
銘柄名	通貨	比率
CHINA GOVERNMENT BOND 2.68 05/21/30	オフショア・人民元	0.5%
CHINA GOVERNMENT BOND 2.69 08/12/26	オフショア・人民元	0.5
US T N/B 1.0 07/31/28	アメリカ・ドル	0.5
US T N/B 1.125 02/15/31	アメリカ・ドル	0.5
US T N/B 3.875 08/15/33	アメリカ・ドル	0.4
CHINA GOVERNMENT BOND 3.01 05/13/28	オフショア・人民元	0.4
CHINA GOVERNMENT BOND 3.03 03/11/26	オフショア・人民元	0.4
US T N/B 0.875 11/15/30	アメリカ・ドル	0.4
US T N/B 4.125 11/15/32	アメリカ・ドル	0.4
US T N/B 3.5 02/15/33	アメリカ・ドル	0.4
組入銘柄数	887銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

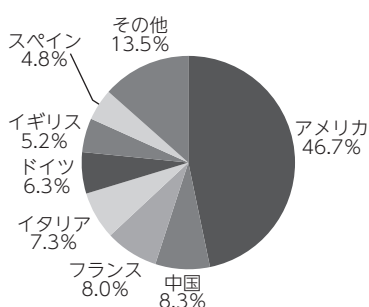
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	3円	0.015%
(その他)	(3)	(0.014)
	(0)	(0.001)
合計	3	0.015

期中の平均基準価額は21,728円です。

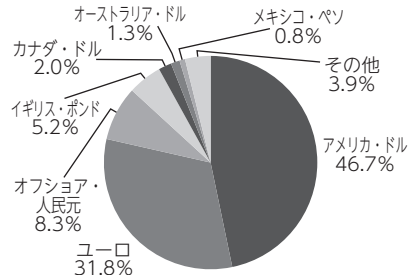
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。

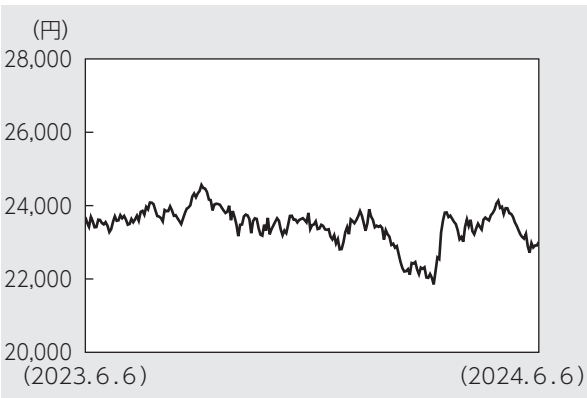
(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) 国別配分は発行国(地域)を表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【Ｊ－ＲＥＩＴインデックスファンド・マザーファンド】

◆基準価額の推移

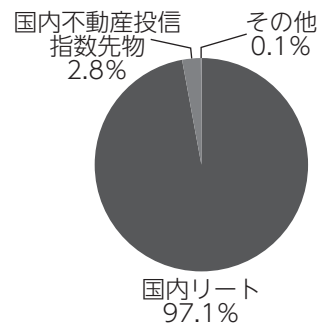


◆1万口当たりの費用明細

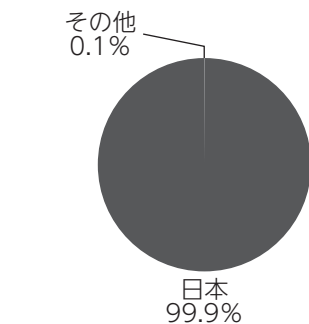
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション) (投資証券)	0円 (0) (0)	0.001% (0.001) (0.000)
合計	0	0.001

期中の平均基準価額は23,451円です。

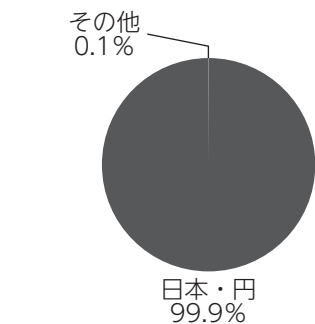
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(計算期間 2023年6月7日～2024年6月6日)

◆組入上位10銘柄（現物）

銘柄名	通貨	比率
日本ビルファンド投資法人	日本・円	6.7%
ジャパンリアルエステイト投資法人	日本・円	5.2
野村不動産マスターファンド投資法人	日本・円	4.4
G L P 投資法人	日本・円	4.3
日本都市ファンド投資法人	日本・円	4.2
日本プロロジスリート投資法人	日本・円	4.2
K D X 不動産投資法人	日本・円	4.2
大和ハウスリート投資法人	日本・円	3.7
インヴィンシブル投資法人	日本・円	3.2
アドバンス・レジデンス投資法人	日本・円	3.1
組入銘柄数	58銘柄	

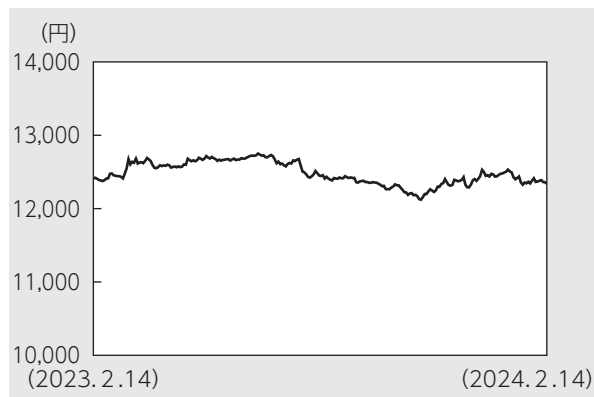
◆組入上位銘柄（先物）

銘柄名	売買 買建	比率
東証 R E I T		2.8%
組入銘柄数	1 銘柄	

- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。
- (注6) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。
- (注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド】（計算期間 2023年2月15日～2024年2月14日）

◆基準価額の推移



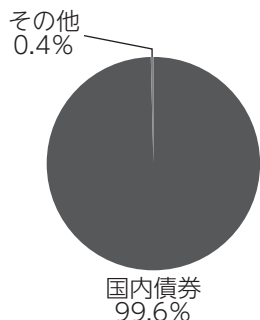
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
4 5 1 回 利付国庫債券（2年）	日本・円	2.3%
1 4 5 回 利付国庫債券（5年）	日本・円	1.4
3 5 0 回 利付国庫債券（10年）	日本・円	1.2
3 4 9 回 利付国庫債券（10年）	日本・円	1.1
3 6 4 回 利付国庫債券（10年）	日本・円	1.1
1 4 7 回 利付国庫債券（5年）	日本・円	1.1
1 5 5 回 利付国庫債券（5年）	日本・円	1.1
3 5 7 回 利付国庫債券（10年）	日本・円	1.1
3 6 7 回 利付国庫債券（10年）	日本・円	1.0
3 6 1 回 利付国庫債券（10年）	日本・円	1.0
組入銘柄数	671銘柄	

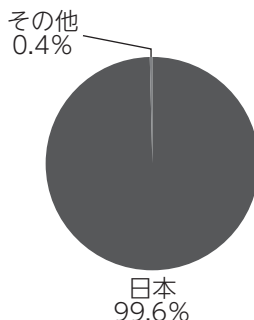
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

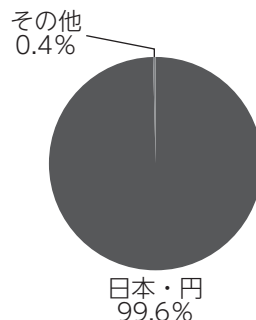
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有しています。
- 「ＭＳＣＩコクサイ・インデックス」は、ＭＳＣＩ Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス」は、ＭＳＣＩ Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）」は、ＦＴＳＥ Fixed Income ＬＬＣにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はＦＴＳＥ Fixed Income ＬＬＣの知的財産であり、指数に関するすべての権利はＦＴＳＥ Fixed Income ＬＬＣが有しています。
- 「ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバースファイド」は、Ｊ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はＪ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。